

## 病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果(静岡県)】

○報告対象となる静岡県内の病院148施設、有床診療所182施設のうち、報告があった病院148施設(100.0%)、有床診療所182施設(100%)を対象として集計した結果

○平成29年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有している、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

《2017(平成29)年7月1日時点の病床数(稼働病床)》

→ 《6年が経過した日(2023(平成35)年)における病床数(稼働病床)》

二次医療圏名	機能区分	一般	療養	計	構成比	一般	療養	計	構成比
静岡県全体	高度急性期	5,030	0	5,030	16.0%	5,221	0	5,221	17.2%
	急性期	12,527	3	12,530	40.0%	12,185	23	12,208	40.2%
	回復期	2,156	1,833	3,989	12.7%	2,251	2,263	4,514	14.9%
	慢性期	1,365	8,435	9,800	31.3%	1,376	7,064	8,440	27.8%
	合計	21,078	10,271	31,349		21,033	9,350	30,383	
01 賀茂	高度急性期	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%
	急性期	331	0	331	40.4%	291	0	291	35.5%
	回復期	117	41	158	19.3%	157	41	198	24.2%
	慢性期	72	258	330	40.3%	72	258	330	40.3%
	小計	520	299	819		520	299	819	
02 熱海伊東	高度急性期	64	0	64	5.3%	64	0	64	5.3%
	急性期	574	0	574	48.0%	574	0	574	48.0%
	回復期	158	0	158	13.2%	158	0	158	13.2%
	慢性期	55	346	401	33.5%	55	346	401	33.5%
	小計	851	346	1,197		851	346	1,197	
03 駿東田方	高度急性期	743	0	743	11.8%	743	0	743	12.1%
	急性期	3,072	0	3,072	48.6%	3,020	0	3,020	49.3%
	回復期	353	397	750	11.9%	385	438	823	13.4%
	慢性期	267	1,483	1,750	27.7%	270	1,265	1,535	25.1%
	小計	4,435	1,880	6,315		4,418	1,703	6,121	
04 富士	高度急性期	58	0	58	2.3%	100	0	100	3.9%
	急性期	1,342	0	1,342	52.1%	1,362	0	1,362	53.3%
	回復期	199	237	436	16.9%	164	338	502	19.6%
	慢性期	52	688	740	28.7%	52	541	593	23.2%
	小計	1,651	925	2,576		1,678	879	2,557	
05 静岡	高度急性期	1,575	0	1,575	24.3%	1,575	0	1,575	25.9%
	急性期	2,037	0	2,037	31.4%	2,029	0	2,029	33.3%
	回復期	384	413	797	12.3%	379	473	852	14.0%
	慢性期	453	1,620	2,073	32.0%	453	1,182	1,635	26.8%
	小計	4,449	2,033	6,482		4,436	1,655	6,091	
06 志太榛原	高度急性期	251	0	251	7.7%	251	0	251	7.9%
	急性期	1,747	0	1,747	53.9%	1,747	0	1,747	54.8%
	回復期	272	159	431	13.3%	272	297	569	17.8%
	慢性期	0	810	810	25.0%	0	622	622	19.5%
	小計	2,270	969	3,239		2,270	919	3,189	
07 中東遠	高度急性期	289	0	289	9.4%	438	0	438	14.5%
	急性期	1,146	0	1,146	37.2%	949	0	949	31.3%
	回復期	307	201	508	16.5%	355	251	606	20.0%
	慢性期	0	1,138	1,138	36.9%	0	1,038	1,038	34.2%
	小計	1,742	1,339	3,081		1,742	1,289	3,031	
08 西部	高度急性期	2,050	0	2,050	26.8%	2,050	0	2,050	27.8%
	急性期	2,278	3	2,281	29.9%	2,213	23	2,236	30.3%
	回復期	366	385	751	9.8%	381	425	806	10.9%
	慢性期	466	2,092	2,558	33.5%	474	1,812	2,286	31.0%
	小計	5,160	2,480	7,640		5,118	2,260	7,378	

集計対象 31,435床

※医療機能について未選択(休棟等)の86床は、上表には含めていない。

※医療機能について未選択(休棟等)150床及び介護保険施設等への移行分888床は、上表には含めていない。

稼働病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果(静岡県)】

○報告対象となる静岡県内の病院148施設、有床診療所182施設のうち、報告があった病院148施設(100%)、有床診療所182施設(100%)を対象対象として集計した結果

○平成29年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

【2017(平成29)年7月1日時点の病床数(稼働病床)】

医療圏名		県全体	賀茂	熱海伊東	駿東田方	富士	静岡	志太榛原	中東遠	西部
医療機能										
全体	高度急性期	5,030床	0床	64床	743床	58床	1,575床	251床	289床	2,050床
		16.0%	0.0%	5.3%	11.8%	2.3%	24.3%	7.7%	9.4%	26.8%
	急性期	12,530床	331床	574床	3,072床	1,342床	2,037床	1,747床	1,146床	2,281床
		40.0%	40.4%	48.0%	48.6%	52.1%	31.4%	53.9%	37.2%	29.9%
	回復期	3,989床	158床	158床	750床	436床	797床	431床	508床	751床
12.7%		19.3%	13.2%	11.9%	16.9%	12.3%	13.3%	16.5%	9.8%	
慢性期	9,800床	330床	401床	1,750床	740床	2,073床	810床	1,138床	2,558床	
	31.3%	40.3%	33.5%	27.7%	28.7%	32.0%	25.0%	36.9%	33.5%	
合計		31,349床	819床	1,197床	6,315床	2,576床	6,482床	3,239床	3,081床	7,640床
一般病床	高度急性期	5,030床	0床	64床	743床	58床	1,575床	251床	289床	2,050床
	急性期	12,527床	331床	574床	3,072床	1,342床	2,037床	1,747床	1,146床	2,278床
	回復期	2,156床	117床	158床	353床	199床	384床	272床	307床	366床
	慢性期	1,365床	72床	55床	267床	52床	453床	0床	0床	466床
	小計		21,078床	520床	851床	4,435床	1,651床	4,449床	2,270床	1,742床
療養病床	高度急性期	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	急性期	3床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	3床
	回復期	1,833床	41床	0床	397床	237床	413床	159床	201床	385床
	慢性期	8,435床	258床	346床	1,483床	688床	1,620床	810床	1,138床	2,092床
	小計		10,271床	299床	346床	1,880床	925床	2,033床	969床	1,339床

※集計対象31,435床のうち、医療機能について未選択の86床は、上表には含めていない。



【6年が経過した日(2023(平成35))年における病床数(稼働病床)】

医療圏名		県全体	賀茂	熱海伊東	駿東田方	富士	静岡	志太榛原	中東遠	西部
医療機能										
全体	高度急性期	5,221床	0床	64床	743床	100床	1,575床	251床	438床	2,050床
		17.2%	0.0%	5.3%	12.1%	3.9%	25.9%	7.9%	14.5%	27.8%
	急性期	12,208床	291床	574床	3,020床	1,362床	2,029床	1,747床	949床	2,236床
		40.2%	35.5%	48.0%	49.3%	53.3%	33.3%	54.8%	31.3%	30.3%
	回復期	4,514床	198床	158床	823床	502床	852床	569床	606床	806床
14.9%		24.2%	13.2%	13.4%	19.6%	14.0%	17.8%	20.0%	10.9%	
慢性期	8,440床	330床	401床	1,535床	593床	1,635床	622床	1,038床	2,286床	
	27.8%	40.3%	33.5%	25.1%	23.2%	26.8%	19.5%	34.2%	31.0%	
合計		30,383床	819床	1,197床	6,121床	2,557床	6,091床	3,189床	3,031床	7,378床
一般病床	高度急性期	5,221床	0床	64床	743床	100床	1,575床	251床	438床	2,050床
	急性期	12,185床	291床	574床	3,020床	1,362床	2,029床	1,747床	949床	2,213床
	回復期	2,251床	157床	158床	385床	164床	379床	272床	355床	381床
	慢性期	1,376床	72床	55床	270床	52床	453床	0床	0床	474床
	小計		21,033床	520床	851床	4,418床	1,678床	4,436床	2,270床	1,742床
療養病床	高度急性期	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	急性期	23床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	23床
	回復期	2,263床	41床	0床	438床	338床	473床	297床	251床	425床
	慢性期	7,064床	258床	346床	1,265床	541床	1,182床	622床	1,038床	1,812床
	小計		9,350床	299床	346床	1,703床	879床	1,655床	919床	1,289床

※集計対象31,421床のうち、医療機能について未選択(休棟等)150床及び介護保険施設等への移行分888床は、上表には含めていない。

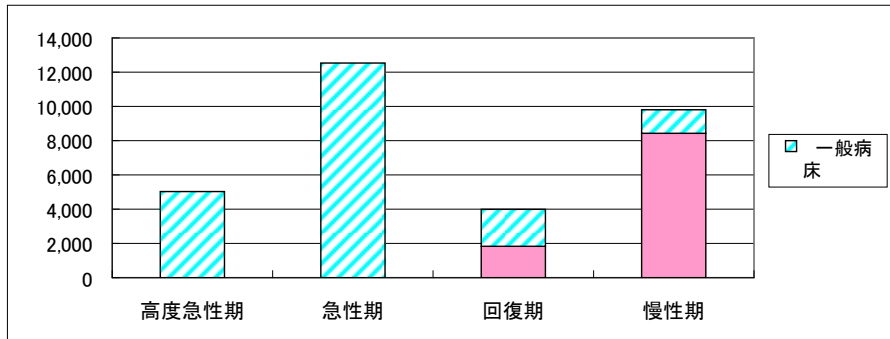
## 稼働病床ベース

### 病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（静岡県）】

- ・報告対象となる330施設（病院148施設、有床診療所182施設）のうち、330施設（100.0%）（病院148施設（100.0%）、有床診療所182施設（100.0%））が報告済み。
- ・報告された稼働病床数合計は、31,435床（一般病床21,164床、療養病床10,271床）
- ・「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、急性期、回復期の構成比が増加

#### 報告のあった330施設（病院148施設、有床診療所182施設）の稼働病床31,435床について集計したもの

《2017（平成29）年7月1日時点の医療機能別の病床数（稼働病床）》

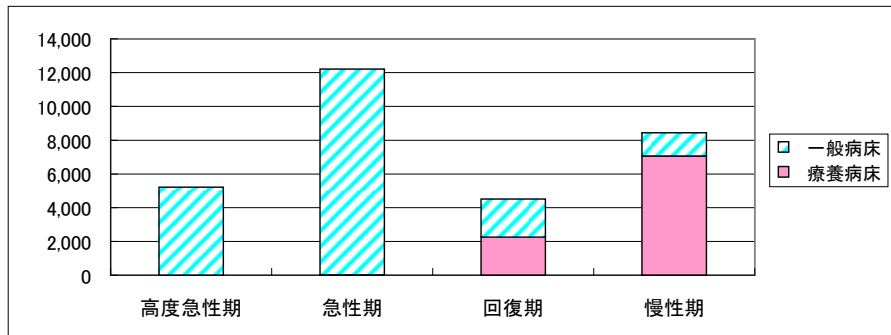


（単位：床、％）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	5,030	12,527	2,156	1,365	21,078
療養病床	0	3	1,833	8,435	10,271
合計	5,030	12,530	3,989	9,800	31,349
構成比	16.0%	40.0%	12.7%	31.3%	100.0%

（注）集計対象31,435床のうち、休棟等により医療機能について未選択の病床が86床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日（2023（平成35）年）における医療機能別の病床数（稼働病床）》



（単位：床、％）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	5,221	12,185	2,251	1,376	21,033
療養病床	0	23	2,263	7,064	9,350
合計	5,221	12,208	4,514	8,440	30,383
構成比	17.2%	40.2%	14.9%	27.8%	100.0%

（注）集計対象31,421床のうち、未選択（休棟等）150床及び介護保険施設等への移行分888床は、上表には含めていない。

稼働病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（賀茂医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

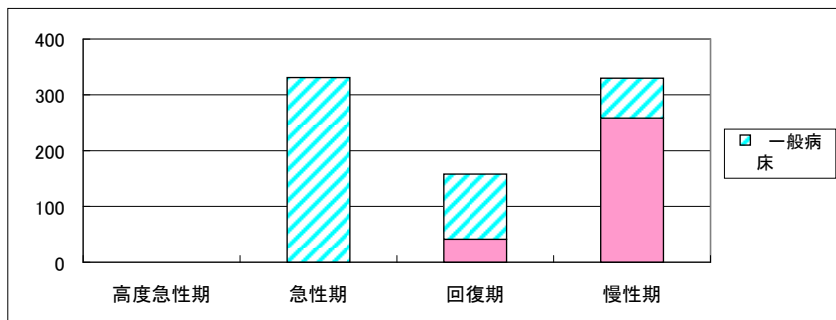
・報告対象となる9施設（病院6施設、有床診療所3施設）のうち、9施設（100.0%）（病院6施設（100.0%）、有床診療所3施設（100.0%））が報告済み。

・平成29年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

・6年後、急性期の構成比が減少し、回復期の構成比が増加

※報告のあった9施設（病院6施設、有床診療所3施設）の稼働病床819床について集計したもの

《2017（平成29）年7月1日時点の医療機能別の病床数（稼働病床）》

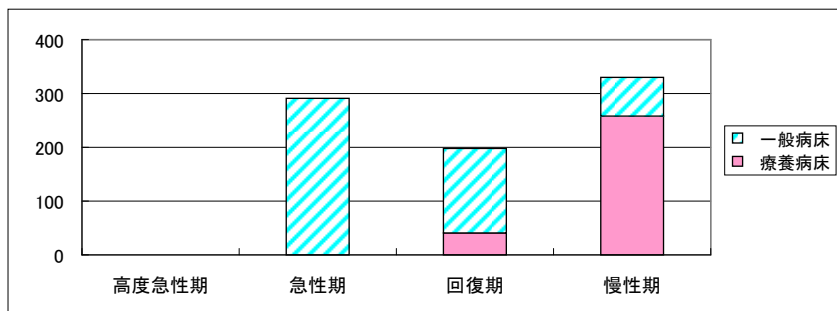


（単位：床、％）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	0	331	117	72	520
療養病床	0	0	41	258	299
合計	0	331	158	330	819
構成比	0.0%	40.4%	19.3%	40.3%	100.0%

（注）集計対象819床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《6年が経過した日（2023（平成35）年）における医療機能別の病床数（稼働病床）》



（単位：床、％）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	0	291	157	72	520
療養病床	0	0	41	258	299
合計	0	291	198	330	819
構成比	0.0%	35.5%	24.2%	40.3%	100.0%

（注）集計対象819床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

稼働病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（熱海伊東医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

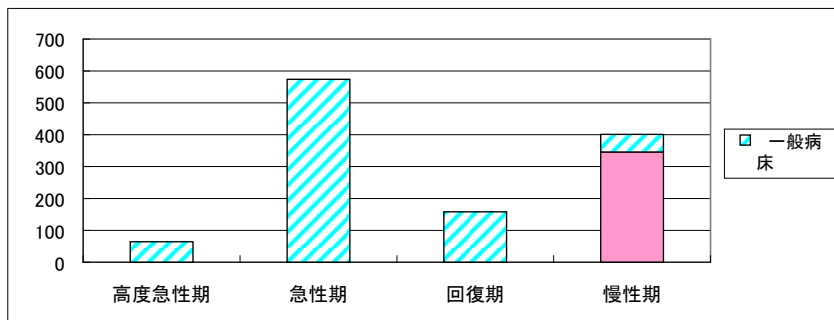
・報告対象となる19施設（病院8施設、有床診療所11施設）のうち、19施設(100.0%)（病院8施設(100.0%)、有床診療所11施設(100.0%))が報告済み。

・平成29年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

・6年後、各医療機能の構成比に変化なし

※報告のあった19施設（病院8施設、有床診療所11施設）の稼働病床1,197床について集計したもの

《2017(平成29)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

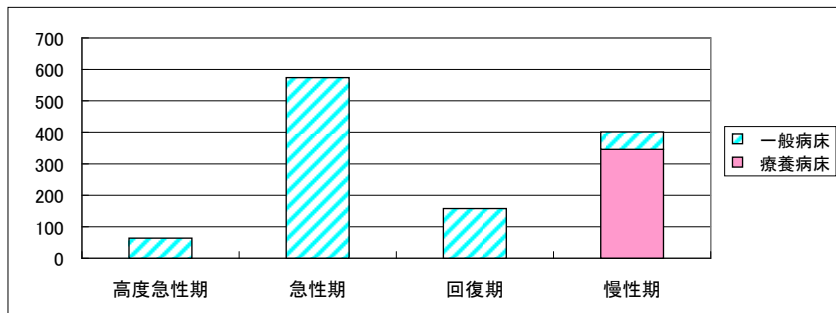


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	64	574	158	55	851
療養病床	0	0	0	346	346
合計	64	574	158	401	1,197
構成比	5.3%	48.0%	13.2%	33.5%	100.0%

(注)集計対象1,197床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《6年が経過した日(2023(平成35)年)における医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	64	574	158	55	851
療養病床	0	0	0	346	346
合計	64	574	158	401	1,197
構成比	5.3%	48.0%	13.2%	33.5%	100.0%

(注)集計対象1,052床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

稼働病床ベース

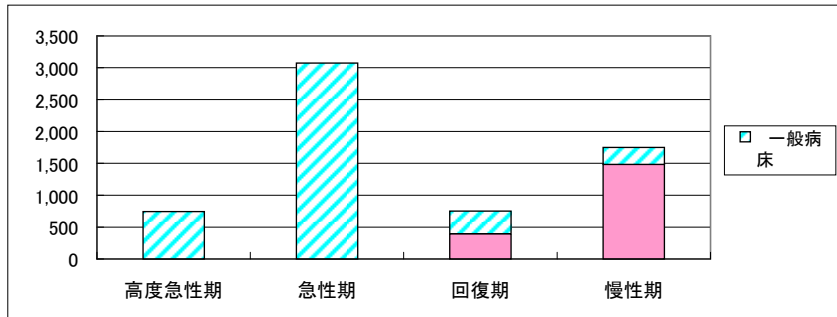
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（駿東田方医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる88施設（病院42施設、有床診療所46施設）のうち、88施設(100.0%)(病院42施設(100.0%)、有床診療所46施設(100.0%))が報告済み。
- ・平成29年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、急性期、回復期の構成比が増加

※報告のあった88施設(病院42施設、有床診療所46施設)の稼働病床6,315床について集計したもの

《2017(平成29)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

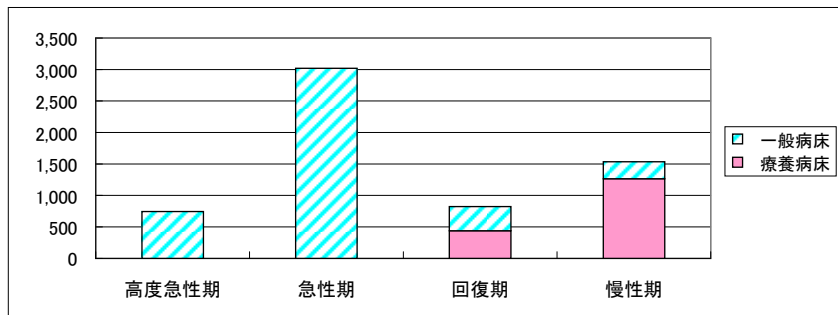


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	743	3,072	353	267	4,435
療養病床	0	0	397	1,483	1,880
合計	743	3,072	750	1,750	6,315
構成比	11.8%	48.6%	11.9%	27.7%	100.0%

(注)集計対象6,315床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《6年が経過した日(2023(平成35)年)における医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	743	3,020	385	270	4,418
療養病床	0	0	438	1,265	1,703
合計	743	3,020	823	1,535	6,121
構成比	12.1%	49.3%	13.4%	25.1%	100.0%

(注)集計対象6,315床のうち、現時点の医療機能について未選択(休棟等)17床及び介護保険施設等への移行分177床は、上表には含めていない。

稼働病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（富士医療圏）】

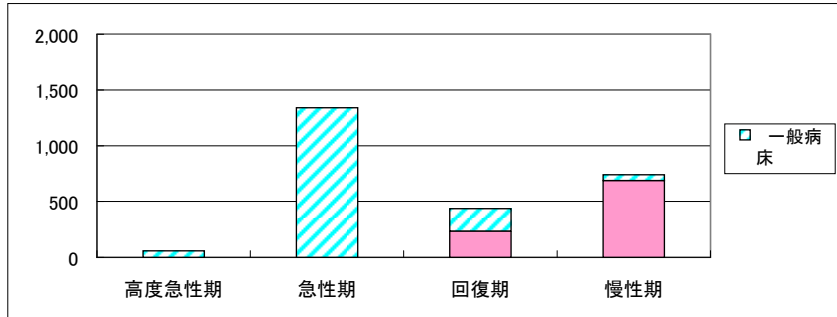
○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる38施設（病院13施設、有床診療所25施設）のうち、38施設(100.0%)(病院13施設(100.0%)、有床診療所25施設(100.0%))が報告済み。
- ・平成29年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

・6年後、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、急性期、回復期の構成比が増加

※報告のあった38施設（病院13施設、有床診療所25施設）の稼働病床2,653床について集計したもの

《2017(平成29)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

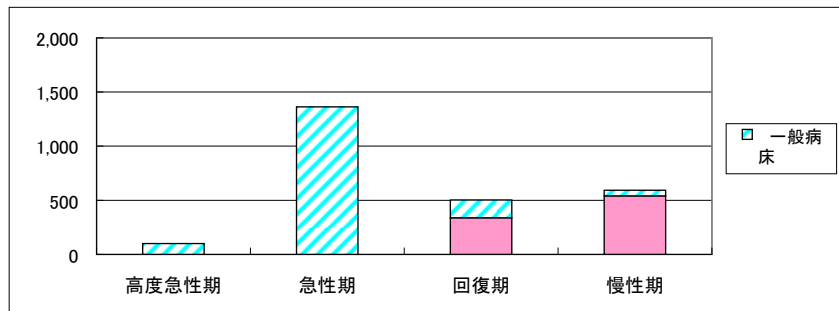


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	58	1,342	199	52	1,651
療養病床	0	0	237	688	925
合計	58	1,342	436	740	2,576
構成比	2.3%	52.1%	16.9%	28.7%	100.0%

(注)集計対象2,653床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が77床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日(2023(平成35)年)における医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	100	1,362	164	52	1,678
療養病床	0	0	338	541	879
合計	100	1,362	502	593	2,557
構成比	3.9%	53.3%	19.6%	23.2%	100.0%

(注)集計対象2,653床のうち、現時点の医療機能について未選択(休棟等)50床及び介護保険施設等への移行分46床は、上表には含めていない。



稼働病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（静岡医療圏）】

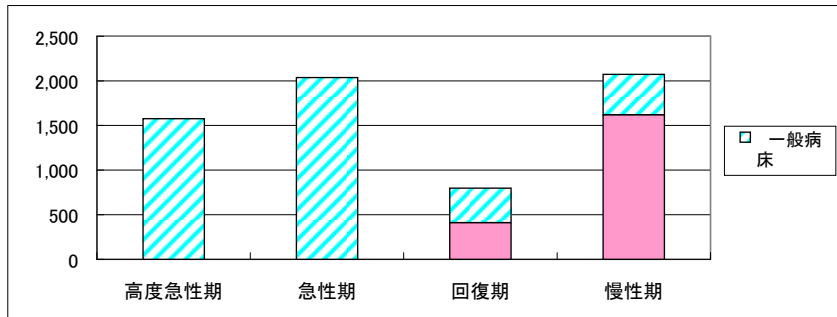
○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる48施設（病院24施設、有床診療所24施設）のうち、48施設(100.0%)(病院24施設(100.0%)、有床診療所24施設(100.0%))が報告済み。
- ・平成29年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

・6年後、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、急性期、回復期の構成比が増加

※報告のあった48施設（病院24施設、有床診療所24施設）の稼働病床6,491床について集計したもの

《2017(平成29)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

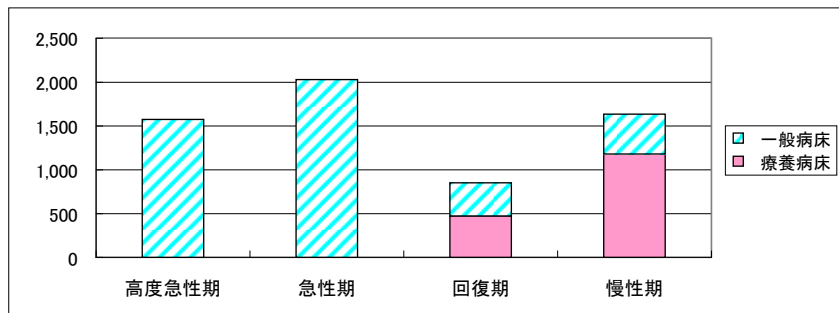


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,575	2,037	384	453	4,449
療養病床	0	0	413	1,620	2,033
合計	1,575	2,037	797	2,073	6,482
構成比	24.3%	31.4%	12.3%	32.0%	100.0%

(注)集計対象6,491床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が9床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日(2023(平成35)年)における医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,575	2,029	379	453	4,436
療養病床	0	0	473	1,182	1,655
合計	1,575	2,029	852	1,635	6,091
構成比	25.9%	33.3%	14.0%	26.8%	100.0%

(注)集計対象6,491床のうち、現時点の医療機能について未選択(休棟等)22床及び介護保険施設等への移行分378床は、上表には含めていない。



稼働病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（志太榛原医療圏）】

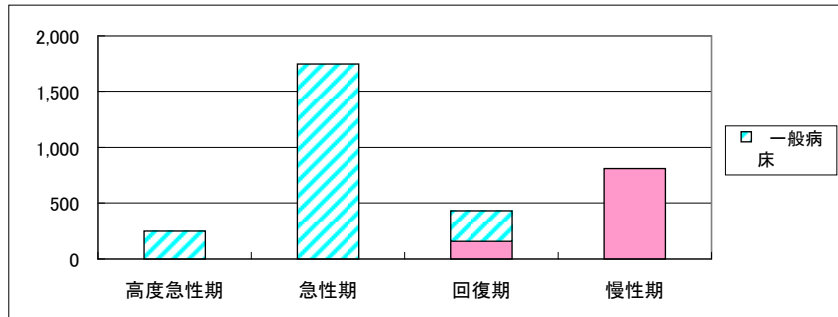
○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

・報告対象となる25施設（病院11施設、有床診療所14施設）のうち、25施設(100.0%)(病院11施設(100.0%)、有床診療所14施設(100.0%))が報告済み。  
 ・平成29年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

・6年後、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、急性期、回復期の構成比が増加

※報告のあった25施設(病院11施設、有床診療所14施設)の稼働病床3,239床について集計したもの

《2017(平成29)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

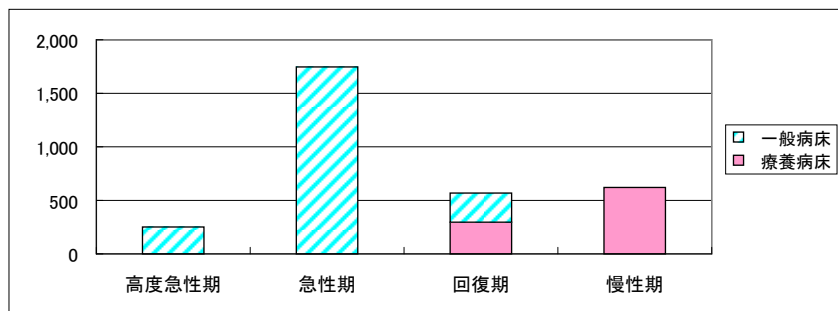


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	251	1,747	272	0	2,270
療養病床	0	0	159	810	969
合計	251	1,747	431	810	3,239
構成比	7.7%	53.9%	13.3%	25.0%	100.0%

(注)集計対象3,239床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《6年が経過した日(2023(平成35)年)における医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	251	1,747	272	0	2,270
療養病床	0	0	297	622	919
合計	251	1,747	569	622	3,189
構成比	7.9%	54.8%	17.8%	19.5%	100.0%

(注)集計対象3,239床のうち、現時点の医療機能について未選択(休棟等)33床及び介護保険施設等への移行分17床は、上表には含めていない。

稼働病床ベース

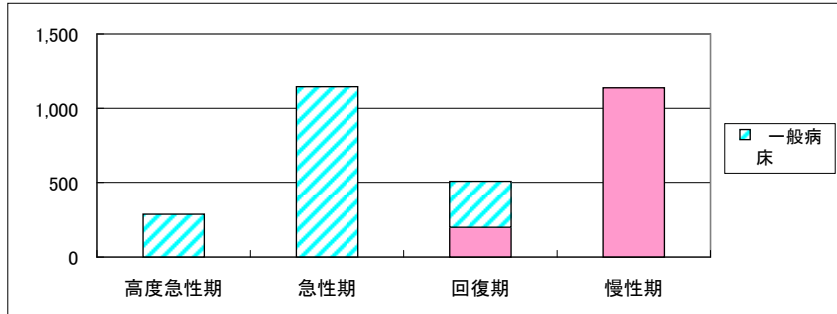
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（中東遠医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる31施設（病院14施設、有床診療所17施設）のうち、31施設(100.0%)(病院14施設(100.0%)、有床診療所17施設(100.0%))が報告済み。
- ・平成29年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、急性期、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、回復期の構成比が増加

※報告のあった31施設(病院14施設、有床診療所17施設)の稼働病床3,081床について集計したもの

《2017(平成29)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

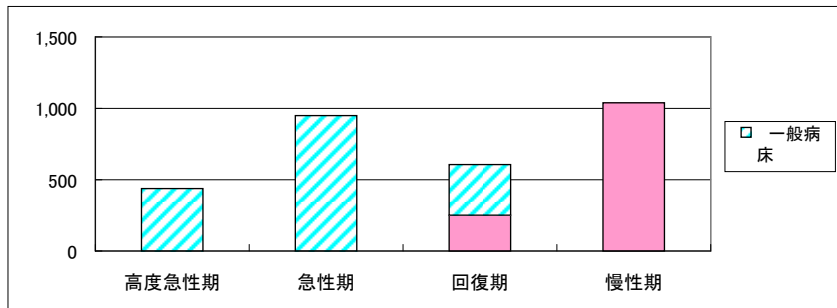


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	289	1,146	307	0	1,742
療養病床	0	0	201	1,138	1,339
合計	289	1,146	508	1,138	3,081
構成比	9.4%	37.2%	16.5%	36.9%	100.0%

(注)集計対象3,081床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《6年が経過した日(2023(平成35)年)における医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	438	949	355	0	1,742
療養病床	0	0	251	1,038	1,289
合計	438	949	606	1,038	3,031
構成比	14.5%	31.3%	20.0%	34.2%	100.0%

(注)集計対象3,081床のうち、医療機能について介護保険施設等を選択した病床が50床分あり、上表には含めていない。

稼働病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（西部医療圏）】

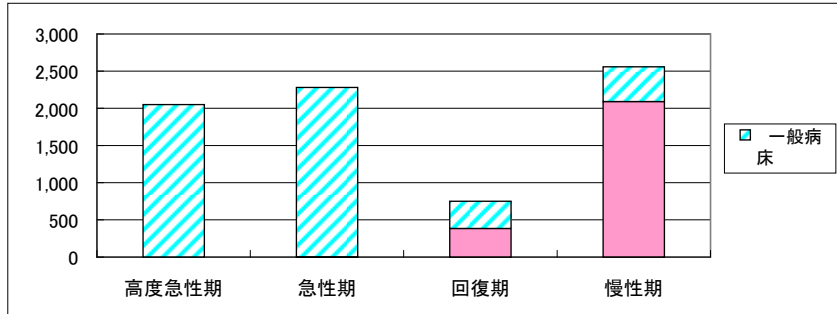
○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる72施設（病院30施設、有床診療所42施設）のうち、72施設(100.0%)(病院30施設(100.0%)、有床診療所42施設(100.0%))が報告済み。
- ・平成29年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

・6年後、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、急性期、回復期の構成比が増加

※報告のあった72施設（病院30施設、有床診療所42施設）の稼働病床7,640床について集計したもの

《2017(平成29)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

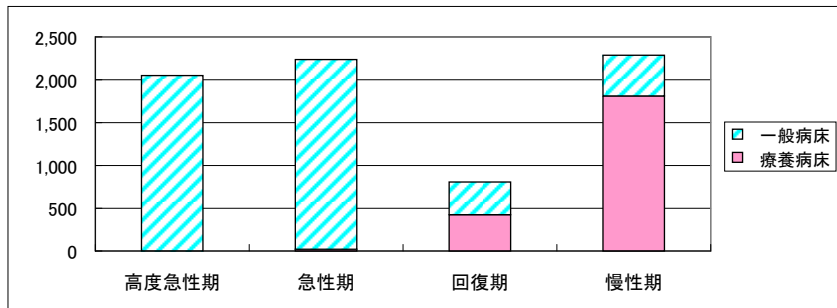


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	2,050	2,278	366	466	5,160
療養病床	0	3	385	2,092	2,480
合計	2,050	2,281	751	2,558	7,640
構成比	26.8%	29.9%	9.8%	33.5%	100.0%

(注)集計対象7,640床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《6年が経過した日(2023(平成35)年)における医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	2,050	2,213	381	474	5,118
療養病床	0	23	425	1,812	2,260
合計	2,050	2,236	806	2,286	7,378
構成比	27.8%	30.3%	10.9%	31.0%	100.0%

(注)集計対象7,626床のうち、現時点の医療機能について未選択(休棟等)28床及び介護保険施設等への移行分220床は、上表には含めていない。